

会報

No. 7
1998. 9

CFAJ(Cable Firestop systems Association of Japan)



ケーブル防災設備協議会



会長就任に当たって

会長 恩田 光弘

ケーブル防災設備協議会の会長就任に当たり、ご挨拶申し上げます。

当協議会は、建築物のケーブル区画貫通部防火措置工法に関するBCJ評定工法のより一層の品質向上及び技術的な発展・普及による業界の健全な発展に寄与すると共に、社会に貢献することを目的として、昭和62年に発足以来、着実な発展を遂げて参りました。しかし、我が国経済が長期不況にある現在においては、防火措置工法事業も厳しい状況にあります。

このような経済状況の下で、当協議会の21世紀を見据えた今後の目標として、次の3点を掲げていきたいと思っております。

(1)当協議会では発足当初から、BCJ評定工法の使用材料の品質と適正な施工技術を確認す

る事を目的に、評定取得社名と施工社名を併記した工法表示ラベルを施工箇所に貼る「工法表示ラベル制度」を採用し、大きな成果を上げて来ました。今後は、この成果を基盤に更なる普及拡大を進めて参ります。

(2)ケーブル防災工事の施工実態の調査と施工上の問題点を抽出し、ケーブル防災技術のユーザーへの啓蒙を進めて参ります。

(3)関係行政機関や諸団体との交流を深め、需要拡大と、社会貢献につながる活動を積極的に推進して参ります。

今後とも需要家の皆様にご安心頂ける防火措置工法を提供できるよう、一層活発な活動を展開して行く所存でございます。

何卒ご支援の程宜しくお願い致します。



技術委員長挨拶

技術委員会委員長 長田 博文

会報発行に当り一言ご挨拶申し上げます。

ケーブル防災設備協議会は皆様のご指導・ご鞭撻により今年で設立12年目を迎えることが出来ました。

設立後一貫して実施して来たのは、「BCJ評定に基づく正しい防火区画貫通部の施工」でありました。

それらは、メーカー名と、施工業者名を並列記載する“工法表示ラベル”の発行管理であり、防火区画の内容に関して一問一答形式で説明した“Q&A”の発行等であります。

又、火災の恐ろしさ、及び防火区画の正しい施

工と防火区画の重要性を現したビデオをさきの国際消防防災展にて放映するとともに、全会員19社の防火区画貫通部措置工法を展示し紹介致しました。

我々ケーブル防災設備協議会としては、ケーブルの火災予防及び火災拡大防止の為に今後は、施工実態の把握や、施工業者の方に安心して施工してもらう為の施工者向けの説明資料を作成する予定です。

更に関係行政の方々の意見を伺いその指導のもと、ケーブル防災設備協議会をますます拡大し、発展させてゆく所存です。

Q：防火材料とは？

A：建設省通達昭和44年住指発第325号「防火材料認定要領」の中で、不燃材料、準不燃材料、難燃材料、更に準難燃材料を総称して「防火材料」と定義しています。

[トピックス]

国際消防防災展 '98に出展

自治省消防庁と東京消防庁は自治体消防50周年を記念して、6月4日(木)～7日(日)まで4日間にわたって「国際消防防災展 '98 in 東京」を有明の東京ビッグサイトにて開催しました。

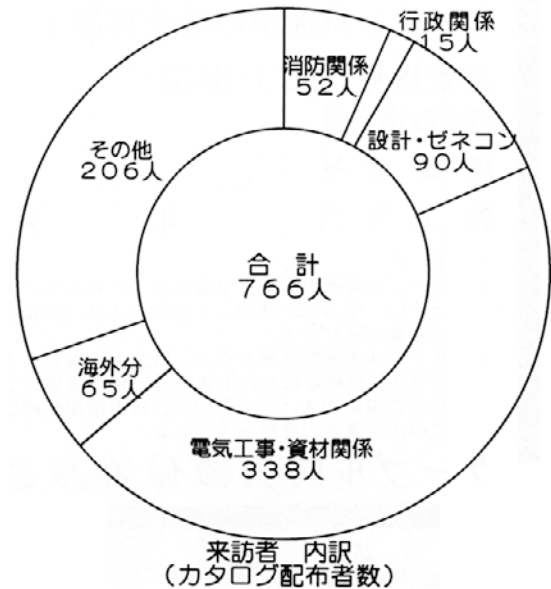
当協議会は前回のFF '94に引き続き協賛団体として参加し、出展致しました。

展示ブースには会員19社の代表的な工法模型を一堂に集め展示しました。

又、新たに作成した当協議会のPRビデオも放映し、火災の恐しさ、施工の正しいやり方について来訪者の注目を集めました。

更に会員各社のカタログを当協議会の案内等と一緒に一冊のファイルセットにまとめたものを作成し、配付しました。

これらの展示品に対し、消防関係の方々をはじめ来訪者の皆様の反響も大きく当協議会の活動を広くPRすることが出来ました。



Q : BCJ評定工法に使用される材料にはどんなものがあるか？

A : 耐熱シール材、ロックウール、特殊耐火充填材、耐熱レジン材、けい酸カルシウム板、特殊耐火材、延焼防止塗料等があります。

◇施工管理と工法表示ラベルについて

BCJ 評定工法による防火措置を実施する際、当協議会では、使用材料の品質と適正な施工を確保するため下記の「工法表示ラベル」を使用しています。

この「工法表示ラベル」は、一定条件を満たした時に個々の評定取得者より発行し、評定番号、評定取得者名と共に施工会社名を表示し、施工箇所の見やすい位置に貼ります。

CFAJ[®]
ケーブル貫通部の防火措置工法
 評定番号 BCJ-防災-○○○○○
 評定取得会社 ○○○○○○○○○○
 施工会社
 施工年月 年 月

△ 警告
 1. ケーブル貫通部の防火措置部の上に乗らないで下さい。開口部が破壊して転落および火災貫通の危険があります。
 2. ケーブルを追加通線するか、除去する場合は当ラベルに記載された評定取得会社または施工会社へご相談下さい。不適切な材料の使用や修理では火災貫通の危険があります。

ケーブル防災設備協議会

ケーブル用
 (枠と評定番号は赤色)

CFAJ[®]
バスダクト貫通部の防火措置工法
 評定番号 BCJ-防災-○○○
 評定取得者 ケーブル防災設備協議会
 ○○○○○○○○○○
 施工会社
 施工年月 年 月

△ 警告
 1. バスダクト貫通部の防火措置部の上に乗らないで下さい。開口部が破壊して転落および火災貫通の危険があります。
 2. バスダクトを変更、その他の理由で再施工する場合は当ラベルに記載され評定取得会社または施工会社へご相談下さい。不適切な材料の使用や修理では火災貫通の危険があります。

ケーブル防災設備協議会

バスダクト用
 (枠と評定番号は緑色)

- 会
- イソライト工業株式会社
 - 原電工事株式会社
 - 新日鐵化学株式会社
 - 住友電気工業株式会社
 - 寺崎ネルソン株式会社
 - トヨクニ電線株式会社
 - 日東化成工業株式会社
 - 日立電線株式会社
 - 古河電気工業株式会社
 - 矢崎総業株式会社

- 員
- 大淀化工株式会社
 - 昭和電線電纜株式会社
 - 住友スリーエム株式会社
 - タツタ電線株式会社
 - 東レ・ダウコーニング・シリコン株式会社
 - 西日本電線株式会社
 - 日本インシュレーション株式会社
 - 株式会社 フジクラ
 - 三菱電線工業株式会社

ケーブル防災設備協議会事務局：〒104-0045 東京都中央区築地1-12-22
 コンワビル6F (社)日本電線工業会内
 TEL 03(3546) 8750
 FAX 03(3542) 6037